

スモモ*1 (果樹類、落葉果樹、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	かいよゆう病	ふくろみ病	黒斑病	灰星病	炭疽病	すす点病	環紋葉枯病	黒星病
I Cボルドー412FL	M1		-	-	◎		◎					
Zボルドー水	M1		*a	-			◎					
石灰硫黄合剤	M2		-	-		◎						
スターナ水	31		7	3	◎		◎					
アミスター10FL	11		1	3				◎		◎		
ストロビーDF	11		7	3					◎		◎	
プリントFL25	11		1	2				◎	◎			
アグレプト水	25		30	2	◎		◎					
マイコシールド水	41		21	3			◎					
スマレックス水	2		14	1				◎				
ロブラール水	2		1	3				◎				
アンビルFL	3		1	2				◎				
インダーFL	3		1	4				◎				
スコア顆水	3		1	2				◎				
トリフミン水	3		1	3				◎				
パスワード顆水	17		1	2				◎				
バリダシン液5	U18		3	4			◎					
チオノックFL	M3		14	3		◎			◎			
トレノックスFL	M3		14	3		◎			◎			
ベルコートFL	M7		3	3				◎				
ベルコート水	M7		3	3				◎				
ホーマイコート水 ㊦	1・M3		*a	1		◎						
ナリアWDG	7・11		1	2		◎		◎				◎
アグリマイシン-100水	25・41		30	2			◎					

㊦：チオファネートメチル含有剤 ◎：ペノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く）。
*1:スモモ(すもも)…プラム、プルーン *a:休眠期

スモモ*1(果樹類、落葉果樹、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	ス モ モ ミ ハ バ チ 類	ハ マ キ ム シ 類	シ ン ク イ ム シ 類	ケ ム シ 類	ア メ リ カ シ ロ ヒ ト リ	モ モ ノ ゴ マ ダ ラ ノ メ イ ガ	ス カ シ バ 類	キ ク イ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類
スピノエースFL	5		3	2						ス							
スプレーオイル	UNM		*a	-		◎											
トモノールS	UNM		*a	-		◎											
ガットキラール	1B		*b	1										コ	◎		
サイアノックス水	1B		21	2	◎					◎							
ダイアジノン水34	1B	劇	21	4	◎				◎	◎		◎					
アグロスリン水	3A	劇	1	2			◎			◎							ク
アディオンFL	3A		1	2	◎					◎							
スカウトFL	3A	劇	1	3	◎					◎							
テルスターFL	3A	劇	1	2						◎				◎		◎	
ロディー水	3A	劇	1	2						◎							
ロビンフードエアゾル	3A		1	5										◎		◎	
アドマイヤー顆水	4A	劇	*d	2	◎												
ダントツ溶	4A		3	3	◎		◎										ク
バリアード顆水	4A	劇	1	2	◎					◎			◎				
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3	◎	◎		◎		◎							ク
ディアナWDG	5		1	2					◎	◎							
デリゲートWDG	5		1	2					◎	◎							
キルパー40液*2	8F		*e	1													ク
バロックFL	10B		7	2													◎
オマイト水	12C		7	1													◎
アブロードFL	16		14	2		幼											
カネマイトFL	20B		3	1													◎
サンマイト水	21A	劇	14	1													◎
ダニトロンFL	21A		7	2													◎
ハチハチFL	21A	劇	14	2	◎												
アクセルFL	22B		1	2							◎						ク
エクシレルS E	28		1	3						◎	◎	◎					
サムコルFL10	28		3	3					◎	◎	◎	◎					
フェニックスFL	28		1	2					◎	◎	◎	◎		コ			
ヨーバルFL	28		*c	1										コ			
			1	2						◎	◎	◎					

*1:スモモ(すもも)…プラム、ブルーベリー *2:伐倒木・枯損木での登録、薬剤の使用方法を
 確認すること *a:発芽前 *b:休眠期(落葉後～萌芽前) *c:開花期まで *d:収穫21日前
 まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く) *e:成虫羽化脱出前
 ク:クビアカツヤカミキリ コ:コスカシバ ス:スモモヒメシンクイ 幼:幼虫

ス
モ
モ

スモモ(果樹類、落葉果類、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
黒斑病		1. 病枝は切り取り処分する。 2. 防風林、防風垣を設ける。	大石早生は発病しやすいので注意する。
	4月上旬～ 6月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アグリマイシン-100(水) 1500倍 アグレプト水和剤 1000倍	
灰星病		1. 病枝は切り取り処分する。 2. 発病果実は速やかに除去する。	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アンビルフロアブル● 1000倍 スミレックス水和剤● 1000～2000倍 ベルコートフロアブル 2000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	
ふくろみ病	発芽前	・次の薬剤のいずれかを散布する。 石灰硫黄合剤 140倍 トレノックスフロアブル 500倍	ソルダムは発病しやすいので注意する。
アブラムシ類	4月中旬～ 7月中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオフロアブル 1500倍 スカウトフロアブル 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	
カイガラムシ類	発芽前	・ブラシ等でかきおとす。	# 幼虫での登録
	5月中旬～ 9月上旬	・幼虫発生期に次の薬剤を散布する。 アプロードフロアブル# 1000倍	
シンクイムシ類	5月中旬～ 8月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スカウトフロアブル 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍 ヨーバルフロアブル 5000倍	
ハダニ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイト水和剤 1000～1500倍 マイトコーネフロアブル* 1000～1500倍	*小粒核果類での登録